

## 第33回世界獣医学大会及びアジア獣医師会連合 代表者会議の開催

平成29年8月28～31日、韓国仁川広域市のソンド・コンベンシアにおいて第33回世界獣医学大会が開催された。

本大会は、世界各国から4,600名を超える出席者を得て、初日(8月28日)の開会式には前国連事務総長の潘基文氏による基調講演が行われ、同日夕に開催された歓迎レセプションには仁川広域市の姉妹都市である北九州市の北橋健治市長が招待され、挨拶をされた。大会では、日本から招待講演者として9名が招かれ、30名を超える福岡県獣医師会関係者を含む多数の獣医師が参加した。

大会初日(8月28日)に世界獣医師会(WVA)の総会が開催され、関係団体代表者として世界獣医師会の次期会長である横倉義武日本獣医師会会長が出席され、挨拶された。なお、会議には、本会から藏内勇夫会長、酒井健夫副会長、境政人専務理事が参加した。

総会の審議内容等として、まず、前回議事録の採択の後、活動報告、会長からのWVA戦略の進捗状況の報告、ならびに人と動物の共通感染症、動物愛護、獣医学教育、薬剤の慎重使用及び他団体との連携等に関するワーキンググループの活動報告が行われた。ついで、WVA会則、施行細則のオブザーバー団体に関する規定について一部改正が行われた後、2018年の年会費について審議が行われた結果、賛成多数で承認された。この結果、各国の年会費は約25%値上げされることとなり、日本は、2017年の年会費は18,363€(約240万円)であったが、2018年には22,958€(約300万円)を負担することとなった。また、政策委員会における協議では、OIEによる卒業直後の獣医師が備えるべき能力、動物看護師に関する世界獣医師会の考え方等について報告が行われ、承認された。

今後の世界獣医学大会(WVC)の在り方に関する協議内容については、WVAC(世会獣医師会大会)と改名し、毎年開催することとされた。以降、2018年は、5月5～8日、スペインのバルセロナにおいて、2019年は、4月26～30日、コスタリカのサンホセにおいて、2020年は、ニュージーランドのオークランドにおいて(日程未定)開催する旨報告された。その後、関係団体、関係企業から活動報告がなされ、さらに新役員の選任が行われ、ジョンソン・チャン氏が新会長に就任した。最後に世界獣医学大会期間中のWVAの活動予定が報告された。

また、同日、本会の藏内勇夫会長、台湾のジョンソ

ン・チャン次期世界獣医師会会長及びデービッド・チェン獣医師会会長、韓国のキム・オッキョン獣医師会会長による協議の場が設定され、東アジア3カ国による獣医学術交流に関する協定の締結に向けて検討を行うことが合意された。

8月30日夕刻、パラダイス・シティにおいて多数の参加者を得てガラ・ディナーが盛大に開催された。ディナーには農業・食料・農村地域省大臣が出席し、挨拶された。また、子どもたちの民族舞踊と歌、さらにKポップ等も披露され、参加者の喝さいを浴びた。

なお、本大会にあわせて8月26日にアジア獣医師会連合(FAVA)代表者会議が開催された。会議の審議内容等として、まず、前回議事録の採択の後、会長の活動報告、事務局の活動報告、監事報告が行われた。ついで、各国からの活動報告が行われ、日本の活動報告として、藏内会長から「第2回世界獣医師会—世界獣医師会“One Health”に関する国際会議」の報告及び会議開催に対する支援への感謝が述べられた。続いて、施行細則の改正について確認が行われ承認された。また、藏内会長から、アジア地域臨床獣医師等総合研修事業について、本年度の進捗状況が報告され、来年度の研修生候補者の推薦について各国の協力が求められた。本事業については、各国代表者から、感謝する旨の意見が寄せられた。さらに2020年のFAVA大会開催地の決定について、マレーシア及びフィリピンが立候補し、プレゼンテーションの後に投票を行った結果、賛成多数でマレーシアが選



図1 左より横倉日本獣医師会会長、藏内会長、レネ・カールソンWVA前会長

定された。

今後の予定として、2018年は、10月30日～11月3日、インドネシアのバリにおいて大会及び代表者会議を、2019年は、フィリピンにおいて代表者会議を（期日未

定）、2020年は、マレーシアのサワラクにおいて大会及び代表者会議（期日未定）を開催する旨決定された。最後に関係団体との交流について、各関係団体から報告が行われた。



図2 WVC ガラ・ディナーにおける表彰式（壇上右にジョンソン・チャン WVA 会長）



図3 藏内会長(中央左)とアチャリヤ・サイライスタ FAVA 事務局長(中央右)



図4 FAVA 代表者会議出席者

藏内会長（前列右から3人目）、ジョンソン・チャン WVA 会長（同4人目）、酒井健夫副会長（後列右から6人目）、境 政人専務理事（同4人目）